

1. 評価結果概要表

平成 21年 4月 8日

【評価実施概要】

事業所番号	2091500054
法人名	社会福祉法人協立福祉会
事業所名	高齢者グループホーム ふきぼこ
所在地	塩尻市大字棧敷 538 - 1 (電話) 0263 - 53 - 5511

評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成21年4月8日	評価確定日	平成21年4月30日

【情報提供票より】( 21年 3月 16日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 20年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤1人	非常勤6人 常勤換算4人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	一日380 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		850 円

(4) 利用者の概要 ( 3月 16日 現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名	
要介護1	2名	要介護2	5名			
要介護3	2名	要介護4				
要介護5			要支援2			
年齢	平均	82.5 歳	最低	79 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	塩尻協立病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームは社会福祉法人 協立福祉会に所属し、隣接の塩尻協立病院と連携をはかり(夏祭りや健康祭り等に参加)入居者の健康管理に努められている。なお塩尻協立病院健康友の会とホーム運営会を立ち上げられ、庭の手入れや野菜作り・行事の支援が得られている。またホームは旧家跡地に庭園を活用しつつ理想の居住空間が設置され入居者の安全確保と生活環境への配慮が伺える。管理者は前任グループホームでの経験を活かし個別ケアに重点を置くと共に、職員は共に暮らすパートナーとしての視点を持ったケアに当たられている。入居者は住み慣れた地域で一人ひとりのペースでゆったりと豊かに暮らされており、ご家族の安心に繋がっている。訪問時入居者同士や職員との会話が長く労わりあい励ましあう場面が伺えた。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	初回の外部評価のため該当いたしません。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	今回が第1回目の自己評価にあたり管理者が取組み作成されている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	第1回の運営会議が開催され、地域との連携について(地域の防災訓練参加や自治会の防災連絡網への組み入れの件・地区消防部長によるホーム調査等)及び今後の運営その他について活発な意見が出され検討されている。今後、今回の外部評価であきらかになった課題や現在取組まれている内容について会議で報告し検討されることを期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	ご家族の面会時に入居者の暮らしぶりや身体状況について報告されると共に、ご家族の意向把握に努められている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	入居者が地域で快適に暮らし続けるために地域とのつながりを大切に地域との交流に努められている。地域の行事や隣接病院行事に積極的に参加されている。なお健康友の会に会議場所を提供してホームに関わる運営委員会を立ち上げていただき、庭の手入れや野菜作りの援助を頂く等地域の方々との交流も行われている。(入居者は散歩時菜園での収穫を楽しまれている)

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者、介護計画作成担当者により作成された理念がホーム玄関に掲示されている。		地域密着型サービスとしての役割を反映した内容で、具体的でわかりやすい内容の事業所独自の理念を職員全員で話し合い作りあげられることを期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月開催される部会において理念について話し合い意識の共有化を図りケアに当たられている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	入居者の散歩時に地域の方々への挨拶やボランティア(ハーモニカ演奏会やフラダンス)の受入れ・隣接法人病院への行事参加・健康友の会等との関わりにより地域との交流が図られている。今後近隣の保育園との交流に努めて行かれる旨を伺った。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回第1回目の自己評価は管理者が取組まれたことを伺った。		管理者は職員に評価の意義や目的を会議時に話し合わせ伝えたと共に、外部評価の結果を踏まえ改善に向け検討をし、サービスの質の確保に活かされることを望みます。

高齢者グループホームふきぼこ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議にはご家族・地域包括支援センター職員・地域より幅広い立場の方々が参加して意見交換が図られている。</p>		<p>運営推進会議には入居者にも参加していただき、定期的な開催と前回検討議題に上げられた地域の防災訓練(訓練網)参加の件についての継続検討や災害時対策について地域との協力体制を築かれることを望みます。なお外部評価結果を会議に提示してホームの取り組み状況や具体的な改善課題について話し合われることにより、地域からの支援が得られることを期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に包括支援センター職員が参加してホームの現況把握をし、ホームの運営その他について意見交流が図られている。</p>		<p>今後市との連携を図り、ホームの専門性を活かし地域の方々へ認知症の理解を深めると共に、認知症予防教室等の受諾により地域に貢献されることを望みます。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族の面会が頻繁にあり、その折に入居者の暮らしぶりや身体状況について報告されている。なお健康状態等状態変化が見られた時は速やかに連絡をし対応している。金銭管理についてはご家族訪問時に確認をいただいている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入所時の説明の通りに苦情受付担当者の提示や受付場所等の案内をされている。なお運営推進会議や家族会及びご家族面会時において、ご家族の意見や要望の表出機会や場が設けられている。今後意見箱の設置の予定を伺った。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>開所後(1年)職員の異動がなく馴染みの職員によるケアにより、入居者との馴染みの関係づくりが築かれている。</p>		<p>今後におかれても、馴染みの職員が継続して支える体制により、入居者やご家族との継続的な信頼関係を維持して行かれる取り組みに期待します。</p>

高齢者グループホームふきぼこ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人で定められている研修会に積極的に参加されている。なお外部勉強会(法人内ホームにて体験学習)にも出席をして質の確保と向上に取り組まれている。</p>		<p>今後職員の年間研修計画を立て経験に応じた計画的な学びの機会を得ることで、更なるサービスの質の向上に繋がることを期待します。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内のグループホーム(3箇所)との主任会議を毎月開催して意見交換が図られている。</p>		<p>法人外のグループホームとの交流を積極的に図り相互研修により各ホームの工夫点を見出す等、学びの機会が得られることに期待します。</p>
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に入居予定者やご家族によるホーム見学の実施やホーム職員による家庭訪問により職員やホーム利用者との馴染みの関係づくりに配慮がされている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日頃の日常生活の中で入居者の言葉に傾聴し、思いや気持ちを受け止め支援されている。職員は入居者より生活の技や生活文化(季節の漬物や保存食品方法)を学ぶことも多いことを伺った。入居者同士や入居者と職員との会話が多くの家族的な関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者やご家族より生活暦(生活習慣)を把握し、入居者の思い(拘り)や習慣に副った支援(散歩時には馴染みの場所を経路にされる等)に心がけるよう努力がされている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>管理者・計画作成担当者がご家族面会時に意向を伺い介護計画書が作成されていることを伺った。</p>		<p>入居者一人ひとりが住み慣れた地域でより良く暮らし続けるための介護計画作成にあたり、入居者やご家族の意向の把握に努められると共に、介護サービスに当たられている職員全員で話し合い、入居者主体の暮らしを反映した介護計画の作成を望みます。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回の定期的な介護計画の見直しが行われている。なお入居者の状態変化に応じ入居者・ご家族の意向を取り入れ、状態に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者の通院時ご家族に代わって通院介助が行われている。今後更に遠方より面会に見えるご家族等の宿泊支援等、柔軟な対応に向け検討していかれる旨を伺った。</p>		

高齢者グループホームふきぼこ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者・ご家族の同意を得て隣接する同法人病院による受診支援(月一回の往診による受診)が行われると共に、必要時には医師との連携が図られている。なお訪問看護師による健康チェック(週1回)を実施すると共に緊急時には24時間連携体制による医療活用が可能となっている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に重度化や終末期の対応について、ホームとしての姿勢が伝えられている。今後更に入居者やご家族の希望に向けて、ホームとしてでき得る最大の支援を具体化していかれる旨を伺った。</p>		<p>入居者やご家族がホームでの終末期ケアを望まれた時には、希望に添える適切な対応ができるように条件整備が図られることに期待します。なお関係者間でケアの方針を共有して当たられ、入居者やご家族が安心した終末期を迎えられることを望みます。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>接遇研修を受け、入居者一人ひとりの尊厳を保持しつつ言葉掛け等にも配慮した支援に努められている。なお個人情報に繋がる書類等の保管管理にも配慮が図られている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ホームの基本的な流れはあるものの、入居者主体のケアに努められている。(レクリエーション・散歩・ぬり絵等)入居者の好みに応じた支援に配慮されている。なお希望に副った休息支援も行われている。</p>		

高齢者グループホームふきぼこ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と一緒に買い物チラシを見て相談をしながら食材を調達したり、菜園から収穫した野菜を利用して献立をたて、調理から片付けまで職員と一緒に行われている。なお職員と一緒にテーブルを囲み会話を楽しみながら和やかに食されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	隔日の午前中入浴が基本的に定められ、入居者の気持ちを大切にして入浴順番等に配慮しつつ実施されている。		今後更に入居者の入浴希望日や時間帯に配慮した支援が行えるような職員体制を整えられることに期待します。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴や状態に合わせ、縫い物(雑巾や袋物)・調理(食事・梅漬け・野沢菜漬け・干し柿作り等)・洗い物・洗濯物干し・菜園の収穫(花や野菜等)などにより役割を得て楽しむことのできる場面づくりに配慮されている。なお訪問ボランティア(ハーモニカ演奏会やフラダンス等)・ドライブ・行事参加により気晴らしの支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に副った散歩や隣接病院売店への買い物支援により、季節感を味わったり、近隣の方々との出会いを楽しまれている。なお土日には福祉会の車を利用して、諏訪湖や同法人グループホームへのドライブ等時にはご家族を交えた外出支援をされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛けない暮らしの大切さを全職員が認識されており、日中は施錠されていないことを伺った。		

高齢者グループホームふきぼこ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練の実施はまだされていない。しかし地域との連携について運営推進会議にて話し合いが持たれている。</p>		<p>災害時の対応手順(避難経路・場所等)や役割分担等についてマニュアル化すると共に、消防署や地域の消防団に参加して頂き定期的に訓練を行うことを望みます。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>職員の中には栄養士の資格者もあり、食事量やバランスのよい栄養摂取ができるよう努められている。(定期的な体重測定を行い状態把握)なお水分摂取についても一日の水分量が確保できるよう配慮がされている。(汁物・お茶・果汁ジュース・乳酸飲料等)</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内の回廊には入居者のぬり絵作品や墨絵・ホームでの生活写真(行事の思い出写真等)・布袋作品が飾られると共に回廊の各所に配置されているソファで入居者が寛げる工夫がされている。なお居間には入居者による生け花より得られる季節感や台所より食材の匂いが漂う生活感の中で、入居者は居心地よく同居者や職員と会話を持ちゆっくり、ゆったりと過されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者が長年使い慣れた思い出の品々(ベット・藤テーブル椅子セット・テレビ・家族写真・親族の位牌等)を持ち込まれ夫々居心地良く過せる工夫がされている。なお入居者が望まれる部屋様式(畳・フローリング)に配慮がされている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。